

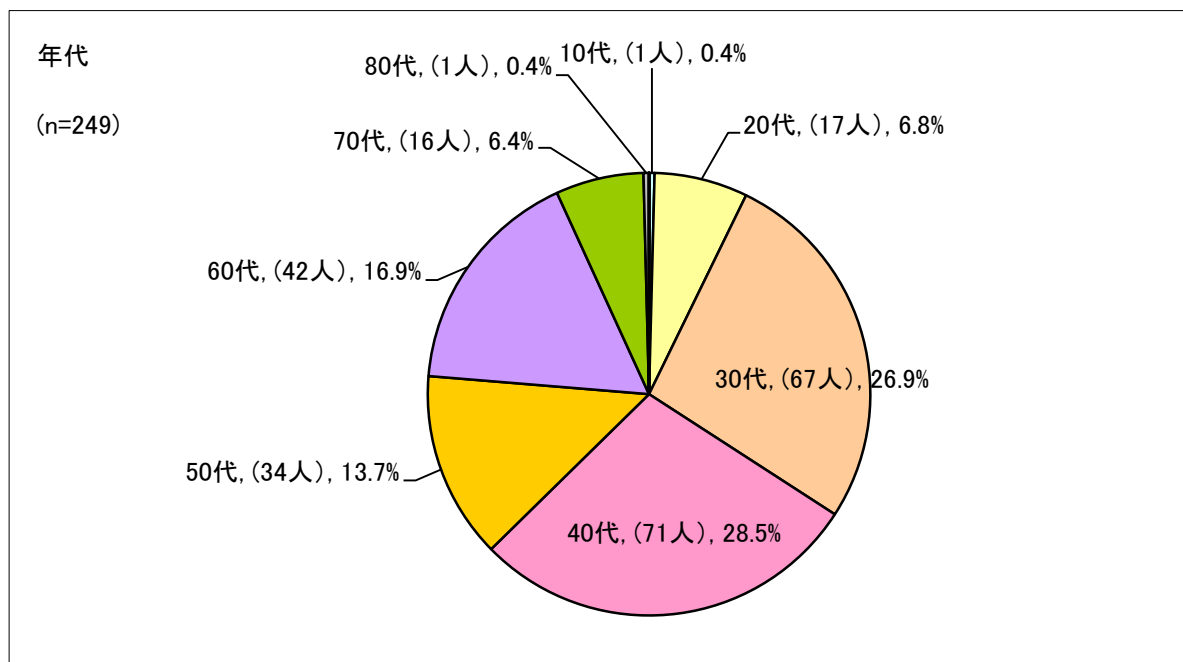
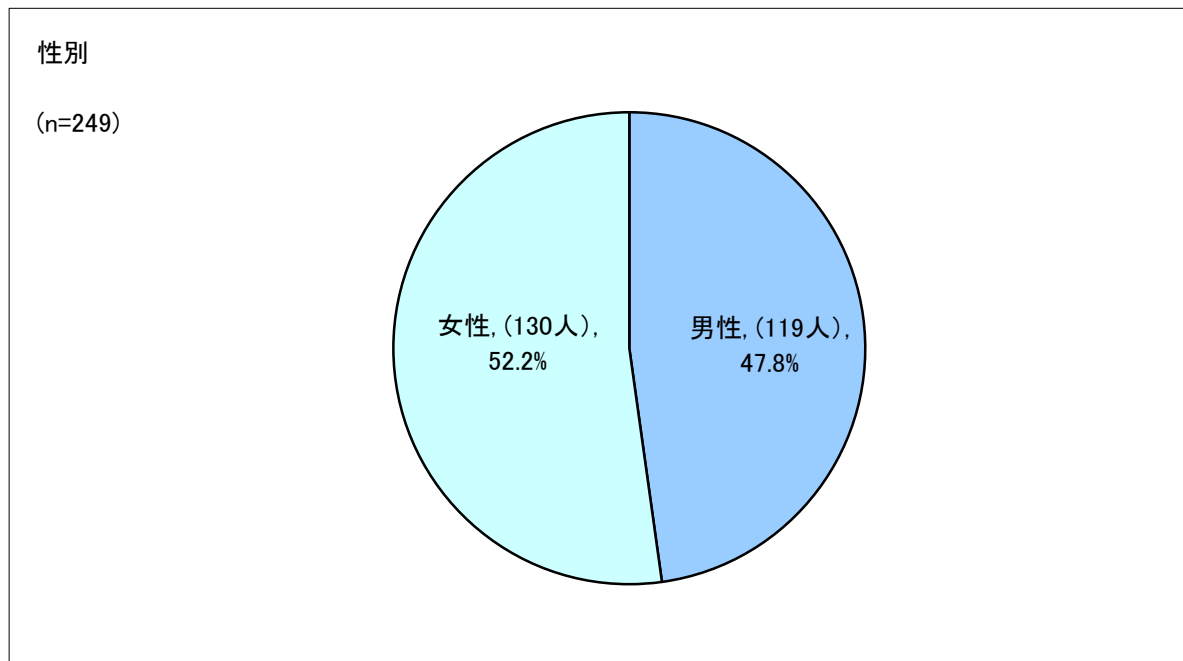
成田市インターネット市政モニター アンケート集計・分析結果（第25回）

第25回のテーマは「人権に関するアンケート」でした。

登録者数：358人

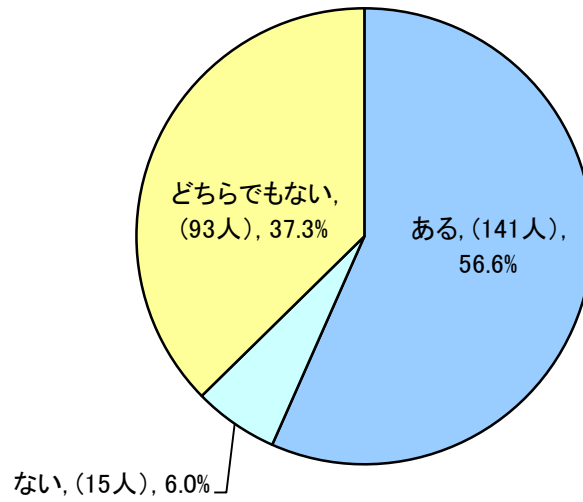
実施期間：平成28年2月3日(水)～2月15日(月)

回答者数（回答率）：249人（69.6%）



[Q1]人権について、関心がありますか。

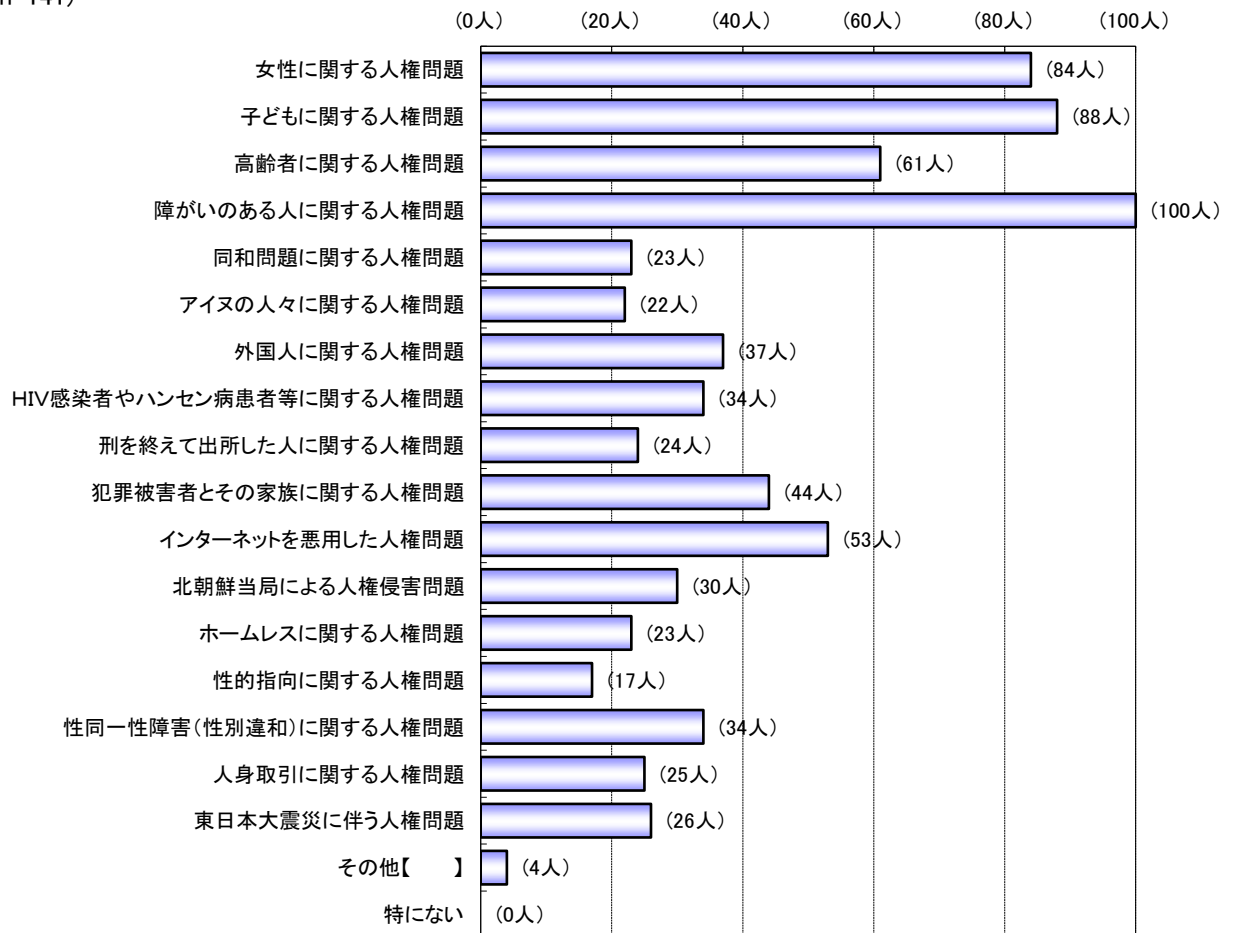
(n=249)



○「関心がある」が全体の約6割弱いる一方、4割弱の方は「どちらでもない」という結果となりました。

[Q2]次の人権問題について、関心のあるものを選んでください。(複数選択可)

(n=141)



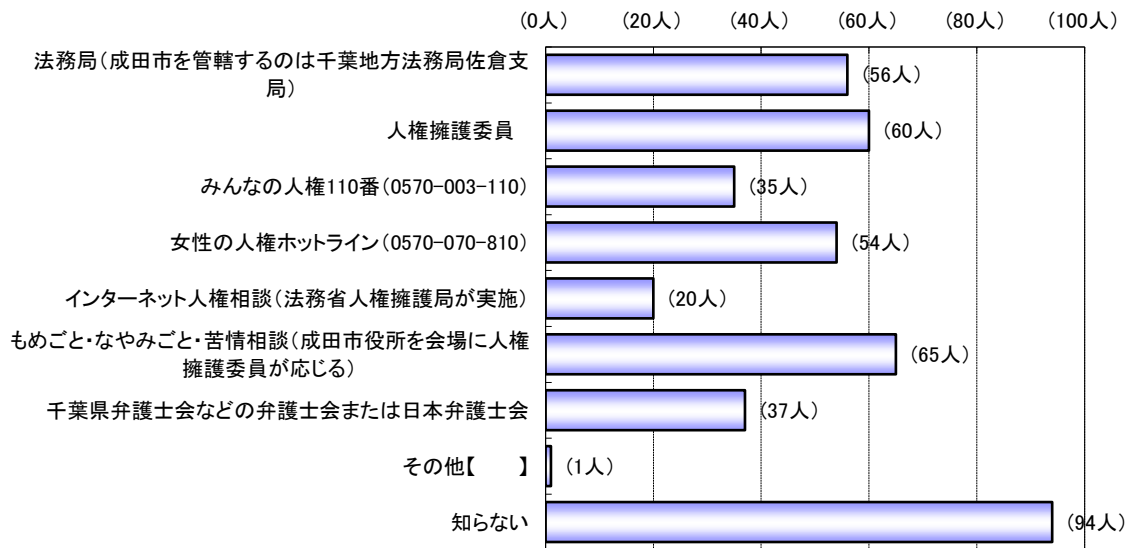
○一番関心があると回答されたのは、「障がいのある人に関する人権問題」でした。続いて「子ども」、「女性」、「高齢者」という順番になりました。

【その他のご意見】

- ・ 宗教や民族差別
- ・ 職場での人権侵害
- ・ マスコミによる人権侵害

[Q3]人権相談窓口について、知っているものを選んでください。(複数選択可)

(n=249)



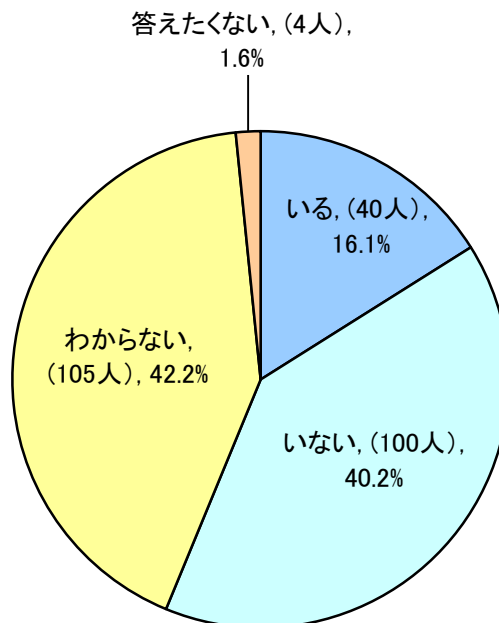
○「人権相談窓口を知らない」という回答が一番多い結果となりました。相談窓口に関する周知活動が不足していることがわかりました。

【その他のご意見】

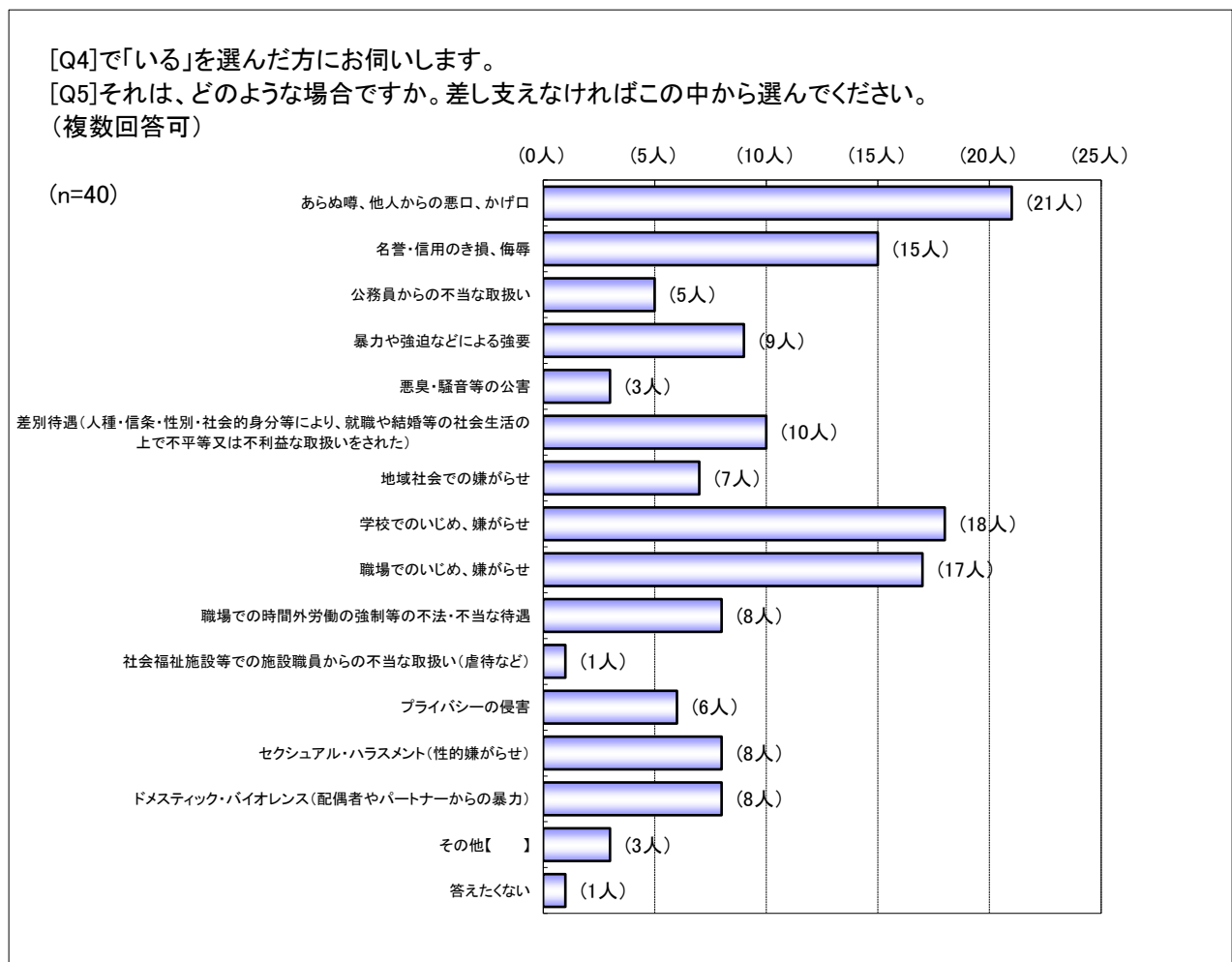
- ・児童相談所、療育センター

[Q4]あなた自身やあなたの身近な人の中で、人権侵害を受けたと感じたことがある人はいますか。

(n=249)



○「わからない」という回答が「いない」を上回る結果となり、人権問題は表に出にくく潜在化しやすい問題であると思われることが伺えます。



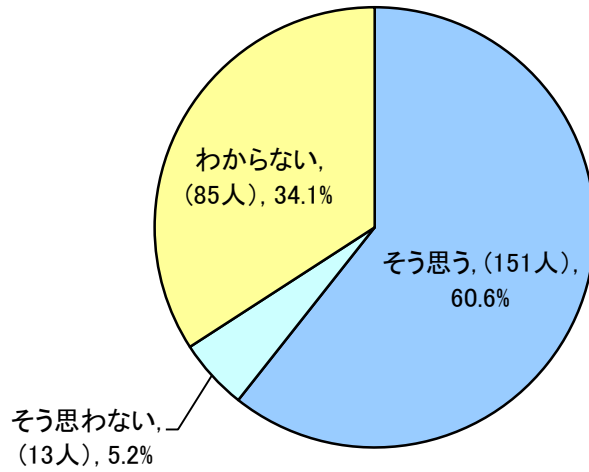
○上位の回答から、「あらぬ噂、他人からの悪口、かげ口」続いて、「学校でのいじめ、嫌がらせ」、「職場でのいじめ、嫌がらせ」という結果となりました。子どもから大人まであらゆる年齢に人権問題が潜んでいることがわかりました。

【その他のご意見】

- ・ネグレクト
- ・パワハラ

[Q6]あなた自身やあなたの身近な人が人権侵害を受けた場合に、あなたは相談したいと思いますか。

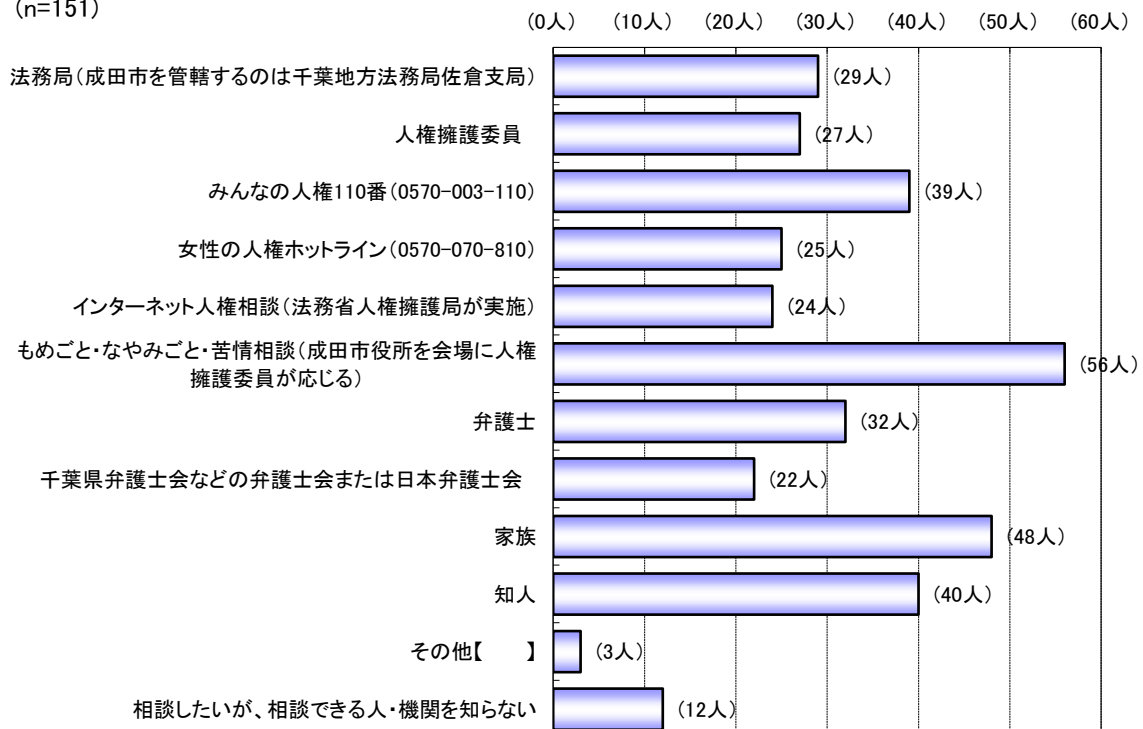
(n=249)



○「そう思う」が約6割いる一方、「わからない」が約3割いることがわかりました。まず相談することが解決の第一歩となることを啓発していく必要があると感じました。

[Q6]で「そう思う」を選んだ方にお伺いします。
[Q7]どちらに相談しようと思いますか。(複数選択可)

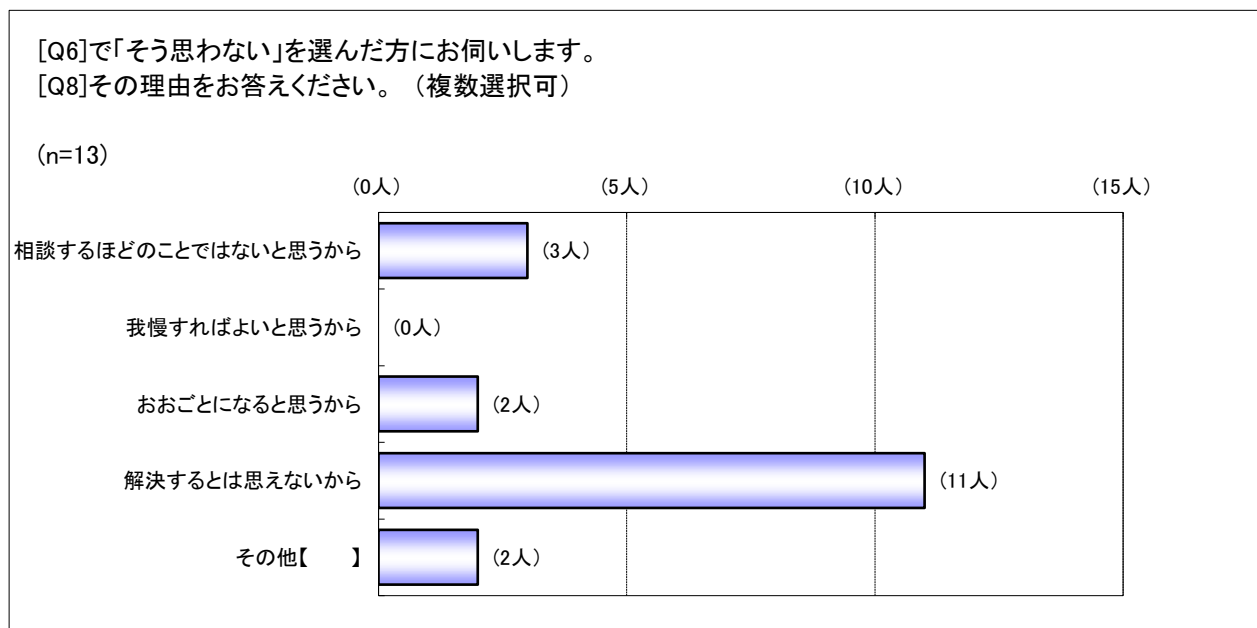
(n=151)



○市で行っている相談会が一番身近に感じられているようです。続いて、「家族」、「知人」の順に相談しようと思われていることがわかりました。今後は、電話で気軽に相談することができる、「みんなの人権110番」や「女性の人権ホットライン」の周知を図り専門機関の活用の促進を図る必要があると感じました。

【その他のご意見】

- ・労働基準監督署・法テラス
- ・人権侵害を受けた内容により相談場所を検討すると思う
- ・労働組合



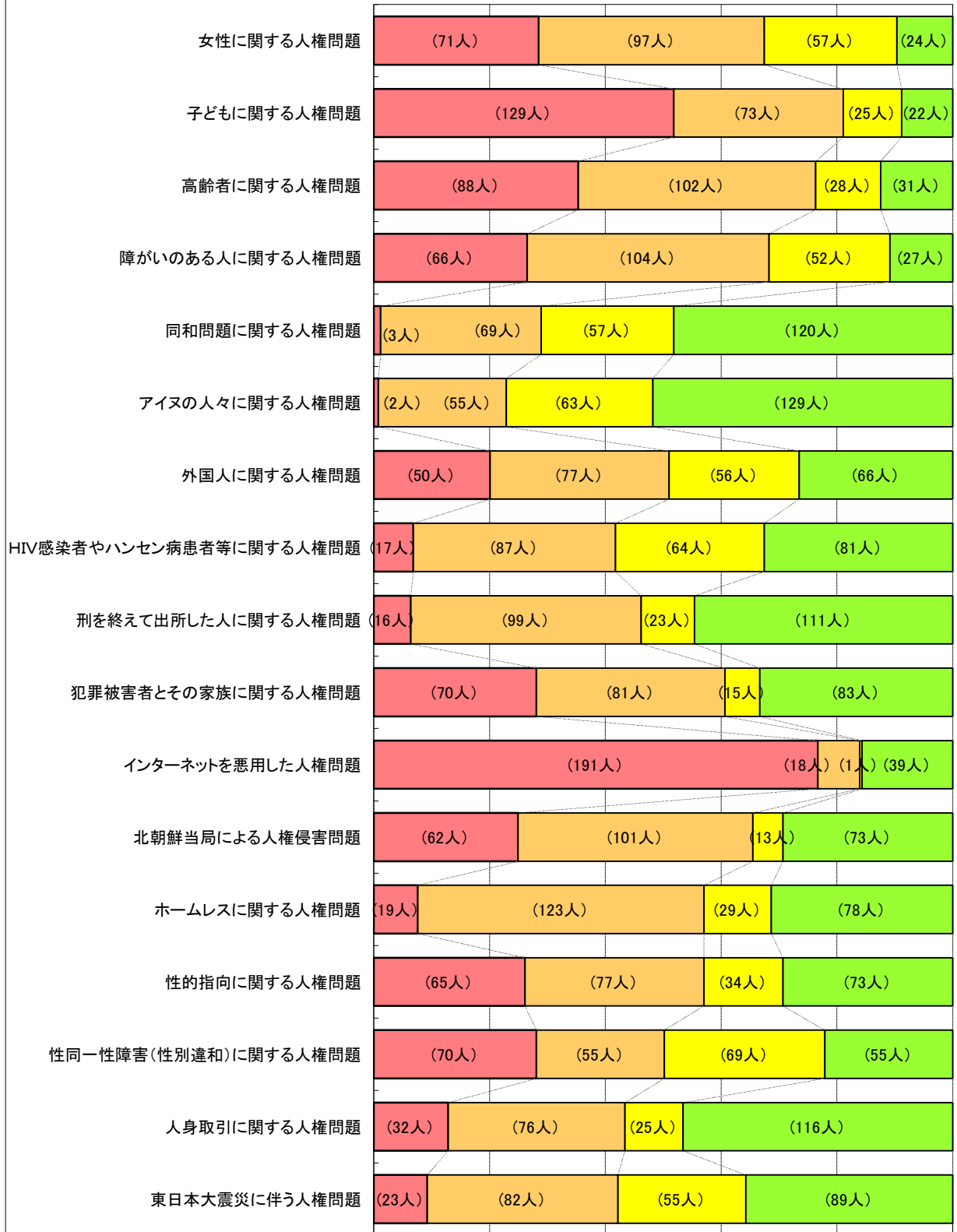
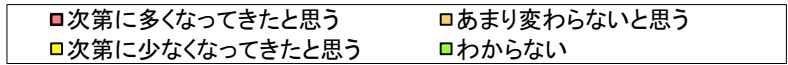
○「解決するとは思えないから」が一番多い回答となりました。相談窓口の有効性を示していく必要があることがわかりました。

【その他のご意見】

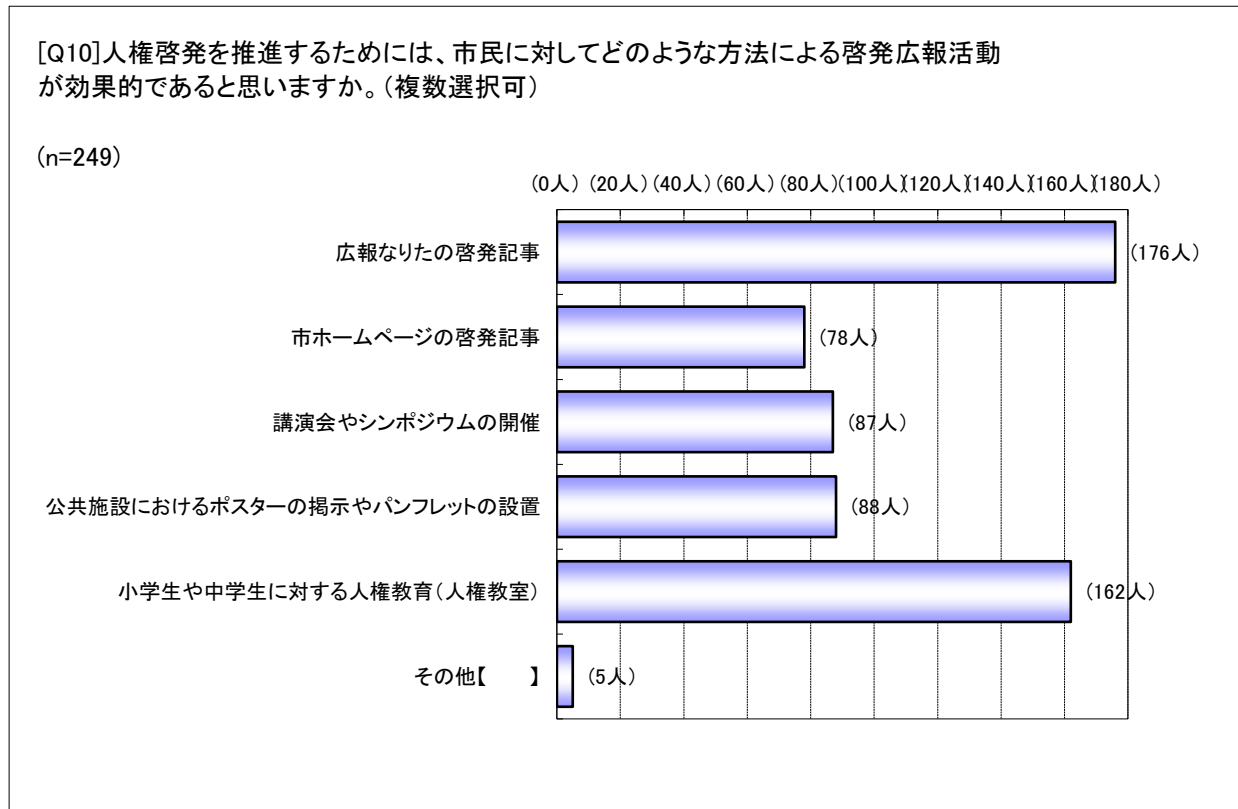
- ・人に知られたくないから

[Q9]新聞、テレビなどで「人権問題」や「人権が侵害された」といった報道がされることがありますが、この5～6年の間に、日本で、人権が侵害されるようなことは、どのように推移したと思いますか。次の人権問題についてあなたの考えに近いものを、それぞれ選んでください

(n=249)



○テレビ等で報道されていることもあり、「インターネットを悪用した人権問題」が多くなったと
 考えている人が多いようです。続いて、「子ども」、「高齢者」、「女性」の順に次第に多くなっ
 きたと感じられています。一方で、「アイヌの人々に関する人権問題」や「同和問題」、「人身取引」
 などは、どのように推移しているのかわからないという回答が多くみられました。様々な人権問
 題に関する啓発が必要だとわかりました。



○多くの市民の方にご覧いただいている「広報なりた」や、小中学生を対象とした人権教育が有
 効だという回答が多かったです。今後もこれらを活用して啓発活動を行っていきます。

【その他のご意見】

- ・ 学校教員に対する徹底した教育訓練を繰り返し行う事が肝要。
- ・ テレビ番組
- ・ 家庭教育
- ・ 対応窓口の広報
- ・ 人権啓発という言葉が硬く、わかりにくいし、目に留まらない気がする。

[Q11]人権や人権問題に関し、ご意見をお聞かせください。(自由回答)

※ 同一内容のご意見は、まとめて掲載させていただきました。

【教育】

- ・ 小中から人権教育をしていくべき。

- ・人は自分一人では生きる事が出来ないのだから、他人を思いやる気持ちが大切なのだと啓蒙して行く必要がある。その教育責任は、第一義的には家庭、次に学校を含めた社会にあるのではないだろうか。
- ・人権侵害は日常的にどこでも起こりうるものであり、今後も決してなくなることはない。自身を守る対処法を学ぶとともに、幼少時より継続して啓発していくしかない。
- ・人間だけでなく命の大切さを子供の時から、考えさせる教育を行い、大人になってからも考えるられるようになると良い。
- ・人権擁護と身勝手との違いについて、学校教育から社会教育までの各段階で指導・教育する事が大切。
- ・「人を傷つけるということはこういうことだ、このような言動が人に悲しい思いをさせてしまうのだ」ということを幼い時から継続して教育することが必要である。

【相談窓口の充実・周知】

- ・メールのほうが気軽に相談できる。
- ・人権問題について相談したいと感じた人々が、安心して相談できる窓口が必要。すでにあるならば、その存在を周知するような取り組みが必要ではないか。
- ・相談する窓口や機関がわかりにくく、一人で抱えこんでいるのが現状ではないか。
- ・子供でも大人でも潜在している問題が多々あるのでは。学校や職場の単位では問題を発見するのは難しいので、個別に聞き取り調査を実施するのが望ましい。
- ・弱い人が相談しやすい環境作りや、窓口を分かりやすくする工夫が必要。

【意識啓発・講演】

- ・人権侵害ということ、普段の生活の中で、特に意識しているかといえば、多くの人が、そうでもないのではないか。具体的な話が聞ける講演会などを開いて、市民に参加してもらうことは、啓発に役立つと思う。
- ・定期的にホームページで特集を組む。
- ・日頃からの教育や関心がとても大切、もっと身近に感じられる、考えられる、参加できる機会が増えるといい。
- ・非常に複雑・微妙な課題であるため、行政が積極的な姿勢を示すとともに、弁護士などの専門家とも力を合わせて教育や講義をした方が良い。

【その他】

- ・ニュースなどでは耳にしても身近にそういった事案がないので少し遠い話のように感じる。身近にもそういう問題を抱えている人達がいるのかもしれないが、声に出すことでその人自身が住みにくい環境になってしまうのではないかという懸念を感じるためなかなか声に出せない現社会があるように思う。
- ・人権問題と認識することが難しい、認識してもその後どうしたらよいかわからない。
- ・人権問題はあらゆる所にあることは認識しているが、多義に渡るため問題解消のための焦点をどこにとるのがわからない。
- ・性的指向については、ぜひ先進的な取り組みを行っていただきたい。

～まとめ～

人権に関するアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

今回のアンケート結果から、皆様がどのような人権問題に関心を寄せていらっしゃるのか把握することができました。この結果を人権意識高揚のための啓発活動に活かしてまいります。

また、人権相談窓口をご存じない方が多数いらっしゃることから、相談窓口の周知に力を入れることと、相談することが解決への第一歩となることをご理解いただけるよう努めてまいります。